

## 要求水準書と基本計画の整合について

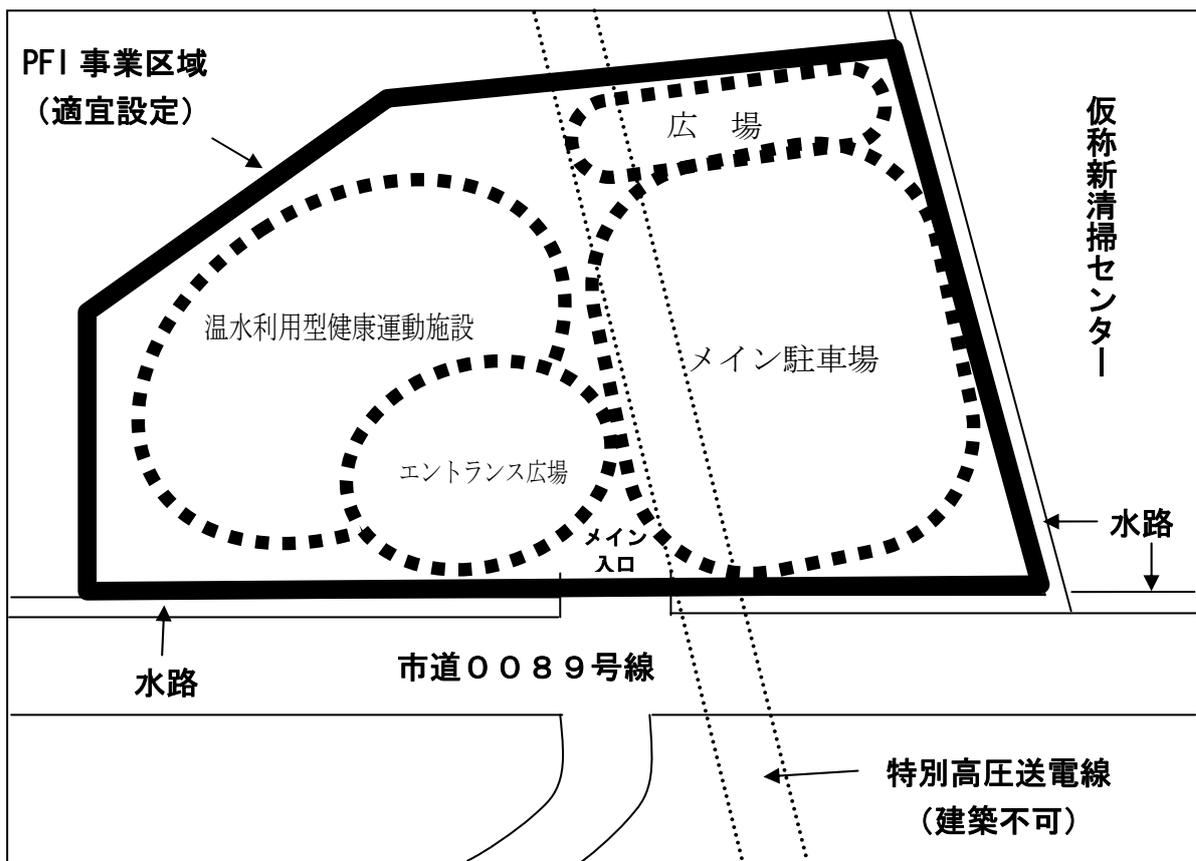
今後、要求水準書（案）を公表する予定であるが、要求水準書とホームページ等で公表している基本計画との整合については、現状、次のように検討している。

## 【なぐわし公園基本計画（公園基本計画）について】

川越市なぐわし公園温水利用型健康運動施設等整備運営事業（以下「本事業」という。）については、なぐわし公園整備事業の第1期事業として実施するものである。

したがって、本事業の実施に当たっては、なぐわし公園基本計画との整合性を図る必要があり、敷地内の基本的なゾーニングについては、以下のとおりとする。

## ゾーニング概略図



また、各施設の形状等については、基本計画図の形状等に係らず、民間の創意工夫を最大限発揮し、利用者の利便性の向上を図るとともに、なぐわし公園のメイン入口及びメイン施設として相応しい意匠とすること。

## 【なぐわし公園温水利用型健康運動施設基本計画（施設基本計画）について】

本計画は、公園基本計画に位置付けられている温水利用型健康運動施設についてのみ特化し、更に精査、検討したものである。ただし、本市は民間の創意工夫を求めるため、施設基本計画の内容について全てを規定するものではない。

なお、詳細な要求事項については後日要求水準書（案）により示す予定であるが、導入施設、諸室規模、諸室配置、動線等の事項については、次のように考えている。

### （導入施設の考え方）

導入施設については、施設基本計画で示した施設とする。

### （諸室の規模の考え方）

諸室の規模については、全体延床面積 7,000 m<sup>2</sup>程度を踏まえ、性能を満たしたうえで、民間の創意工夫を最大限発揮し、諸室の規模の圧縮、拡張等を検討することも可能とする予定である。

ただし、次の事項は規定する予定である。

- ・防災備蓄倉庫については、300m<sup>2</sup>程度とする予定である。
- ・多目的ホールのステージについては、収納型でも可とすること。

### （諸室配置、動線の考え方）

諸室配置や動線については、施設基本計画において、各諸室の配置の考え方や動線計画を示したうえで、基本計画例を作成しているが、民間の創意工夫を最大限発揮し、利用者の利便性の向上を図ったうえで、イニシャルコスト、ランニングコスト等の削減を図れる計画であれば、特に施設基本計画の内容にこだわる必要はない。

ただし、施設基本計画に示している考え方で次の事項は必須とする予定である。

- ・温水プール利用者が直接温浴施設を利用できる動線を確保すること。
- ・多目的ホールは災害時に備え外部から物資を搬入等できるアクセスを確保すること。
- ・防災備蓄庫は内外部からアクセスできるようにすること。

### （利用料金の徴収の考え方）

現状、本施設は、施設利用毎に利用料金を徴収する施設とする予定であり、入館料を徴収する予定はない。